

第2回 OFF-ROAD TRIATHLON in TAHARA (オフロードトライアスロン in 田原) における 新型コロナウイルス感染拡大防止対策 (令和3年9月10日時点版)

注：本対策は、2021年9月10日現在の情報に基づき記載しています。
内容は最新の情報に基づき適宜更新されることにご注意ください。

<総則>

1. 「OFF-ROAD TRIATHLON in TAHARA」大会 (以下「本大会」という) の新型コロナウイルス対策として、下記事項に基づき実施し感染拡大防止に努める。
2. この対策は、公益財団法人日本スポーツ協会の「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン (令和3年2月15日改定版)」、JAPAN TRIATHLON UNION のホームページに掲載の COVID-19 国内向け運営ガイドライン「大会開催に際して注意する点」2020年5月28日版(JTU イベントチーム、技術委員会、審判委員会、メディカル委員会が中心となり作成した、日本国内向けの運営ガイドライン「新型コロナウイルス対策：大会開催に際して注意する点」) を参考に最新の厚生労働省の「新しい生活様式」、政府有識者会議「新型コロナウイルス感染症対策分科会」の「ワクチン接種が進む中で日常生活はどのように変わり得るのか? (令和3年9月3日)」提言等を踏まえ作成している。
3. この対策は、標記時点の対策内容であり適宜更新する。

<はじめに：対策における考え方の要点>

長い社会生活自粛という苦境を経験し、これからも一定の制限を受けながら生きていくウィズコロナの時代となっており、多くのスポーツイベントが中止を余儀なくされている現状ではありますが、関係者間でできる限りの協議を重ね、準備を進めてきた結果、現状必要となる対策を適切に実施することで、地域住民、自治体、関係機関の承諾を得て、本大会を開催することになりました。

本大会は屋外で行う個人競技のため、新型コロナウイルス感染のリスクは低いスポーツですが、大会会場における局所的に人が集まる場面と、大会会場までの移動場面は感染のリスクが高くなることも踏まえ、大会実施前から参加者自らが対策をして準備したうえで、ウイルスの感染経路である飛沫感染と接触感染の2つをよく理解し、「3密」を避けた対応と、熱中症対策の両方の対策をふまえて大会を実施します。

ワクチン2回接種済みでも感染していたり、感染していても無症状の期間があるなど、誰もが知らない間にウイルスを運んでしまう危険性があります。誰かがウイルスを大会会場に持ち込み、大会がクラスターとなることは絶対に避けなければなりません。

本大会の実施をさせていただき開催地の住民・関係者の方の理解と協力を得て、本大会が実施できることから、本大会に集う全ての人にご協力いただき、地域住民と参加者、大会関係者、全ての人々が安心して大会を行うことができるよう、以下の対策を実施しま

すのでご協力お願いいたします。

＜大会実施の判断と対応＞

■コロナ感染症状況による開催の判断について（9月10日見直し）

田原オフロードトライアスロン実行委員会では、刻々と変化する新型コロナ感染拡大の状況と、ワクチン接種が進む動向、新型コロナウイルス感染症対策分科会・政府の発表などを踏まえ、また、地域のみなさまと相談しながら、下記の条件のもと大会を開催することを決定しました。

参加者のみなさまへも下記条件を満足していただく必要があり、ご負担をおかけするとともに、同時開催で準備していましたHANTONEイベントなどは行わず、多くの方の来場や応援などのない無観客で、競技関連事業のみを実施する形として開催し、選手・スタッフともに検査で陰性を確認しての対応とすることで、選手・スタッフともに感染リスクをなくするための対策を実施して行います。ご理解とご協力をお願いいたします。

ただし、以下の開催基準を基に大会開催の最終判断をするとともに、今後の感染状況や愛知県・田原市から要請等があった場合は、大会開催直前でも大会を中止する可能性もありますので予めご承知ください。

●開催条件

- ①大会は、競技及びこれに付随する表彰式、選手への食事提供のみとして実施することとし、ステージでのバンド演奏等のおもてなし、HANTONEなど競技以外の参加者が集まる行事は行わずに無観客で実施することとし、「第2回 OFF-ROAD TRIATHLON in TAHARA（オフロードトライアスロン in 田原）における新型コロナウイルス感染拡大防止対策」に基づき対策を行い実施する。
- ②大会参加者は、「健康チェックシート」の項目をすべてクリアした者で、当日来場入口で配布する抗原検査キットを使用した検査で陰性の場合のみ参加できるものとする。
- ③大会主催者は、当日朝に抗原検査を実施し陰性を確認した者のみで大会を運営する。

●開催基準

- ①10月1日時点で、愛知県に緊急事態宣言が発令された場合、又は田原市にまん延防止等重点措置が適用された場合、原則中止とします。
- ②上記①以外の場合は、大会は開催いたしますが、政府から緊急事態宣言が発令され移動制限のある都道府県からの参加はお断りさせていただきます。また、まん延防止等重点措置が適用された市区町村からの参加もお断りさせていただきます。

※お住いの都道府県、市区町村は参加申込時にいただいた住所で判断します。

●参加費の取扱い

新型コロナウイルス感染拡大による要請等により大会を中止する場合は、参加費や参加賞などについては、中止決定時点での必要経費・手続き費用等を除き返金し、参加賞等を送付することといたしました。また、緊急事態宣言発令、要請等により参加ができない方には

参加賞等を郵送させていただきます。ご理解ご了承おねがいします。

上記以外における中止の場合（天候不順など）や、自己都合による参加辞退は、入金手続き完了後はいかなる理由であっても、申込のキャンセル、参加費は返金できません。（申込み時の「誓約文」に記載のとおり）

【誓約文】 ※エントリーページで当文に同意したうえでエントリーすることになっています。

私は自ら大会に参加するにあたり、以下のことを誓約します。また私が18歳未満の場合は、私の保護者が以下の事を誓約の上参加する事に同意した事を証します。

大会主催者が設けた全ての規則、指示に従うことに同意します。

私は自分自身の健康管理に細心の注意を払い、大会及びその他付帯行事の開催中参加に当たって関連して起きた死亡、負傷、その他の事故の場合にも自己の責任において一切処理し、主催者、管理者、役員及び係員並びに参加選手など大会関係者を非難したり責任を問わない事を誓います。尚この事は事故が主催者に起因した場合でも変わりありません。

大会及びその付帯行事の開催中、参加者自身の所有品及び用具、コース上において参加者と接触等を起こした人や物に対し一切の責任は参加者自身が持つものとします。

豪雨、強風その他の気象条件又は新型コロナウイルス感染症等に起因する止むを得ない理由により大会の中止になっても異議ありません。またその場合の参加費が返金されないことを承知します。自己都合による不参加の場合も同様とします。

私は、私の個人情報を、主催者及び主催者の関連会社や協力会社のイベント情報や各種サービスに関し、必要な範囲で利用することに同意します。

<注意事項>

硬質自転車用ヘルメット、スポーツサイクル店にて大会用に整備された自転車を使用のこと。ウエットスーツ等の着用義務（ライフジャケット、フローティングベスト等も可能。ただし膨張式は不可） 競技中の傷害に対しては主催者は一切責任を負いません。

医師などの治療費については、すべて本人の負担となりますので必ず健康保険証を携帯して下さい。

＜参加選手が行う対策 要約版＞



第2回OFF-ROAD TRIATHLON in TAHARA の ルール

みんなでしっかり新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- ・厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)」をインストール(スマホの方必須)
- ・「抗原検査で陰性」の場合のみ参加
- ・受付前に「健康チェックシート」を記入して受付に必ず提出
- ・大会前から、「密」回避、手洗いうがい、体調管理をしっかりしよう
- ・入場時には、体温測定！体調不良、37.5℃の発熱の場合は参加自粛しよう
- ・受付前にオムニゲートで消毒、手を消毒液で消毒
- ・タオルは自分専用でね
- ・近接会話時はマスク等をしよう ただし、熱中症対策のため、野外では2m以上離れてマスクを外そう
- ・更衣室は、密にならないように順番にね
- ・レース時は、縦列にならないようにずらして走ろう！
- ・アワードセレモニーでは、2m以上はなれて、騒がず、ゆったり楽しく過ごしてね



田原オフロードトライアスロン実行委員会



＜参加選手が行う対策＞

1. 基本事項

感染拡大のために参加者に守っていただきたい事項を以下に記します。

守っていただけない場合には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への「参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得る」ということをご理解、ご協力お願いいたします。

- ※ 基礎疾患（特に肺疾患、心疾患、高血圧、糖尿病など）のある方は、自らが感染した場合重症化する割合が高いため、大会申込み、参加、大会会場への来場をお勧めしません。

2. 大会前の対策と対応

- (1) 大会参加者は、「健康チェックシート」の項目をすべてクリアした者で、当日来場入口で配布する「抗原検査キット」を使用した検査で陰性の場合のみ参加できるものとしますので、大会 2 週間前から事前に対応をお願いします。

大会受付時まで、「抗原検査」を行い、「健康チェックシート」（検査の結果、体温、咳、痰、鼻汁、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、食欲低下、味覚異常・嗅覚異常の有無、近親者に左記の症状がないかなど）に記入を行い、会場受付に提出してください。

- (2) 普段から「密閉」「密集」「密接」を避け、こまめな手洗い・うがい、咳エチケットに気をつけ健康維持に努めていただき、大会会場でも同様をお願いします。

大会に参加する個人や団体は、大会の前後のミーティング等においても密を避けること、懇親会の開催を控えること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策を行ってください。ただし、熱中症を防止する観点から、野外で人との距離が 2 m 以上離れている場合は、マスクを外し、熱中症予防に努めてください。

- (3) 移動手段としては、公共交通機関をできるだけ避け、自家用車での移動を推奨いたします。必要な駐車場は主催者が確保します。

- (4) 以下の事項に該当する場合は、来場せず欠場してください。

その場合は、大会事務局へ電話連絡等してください。

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・鼻汁・咽頭痛・息苦しさ・倦怠感・食欲低下・味覚異常・嗅覚異常などの症状がある場合）。

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。

ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

- (5) マスク・フェースシールド等（以下、「マスク等」という）を事前に準備する。

- (6) 行動記録：大会前後 1 4 日間の出向いた場所、同行者について、特に人混みに入る場合だけでも可能な範囲で記録しておいてください。

- (7) 厚生労働省の接触確認アプリ COCOA を、インストールしてください。

3. 大会当日の対策と対応

- (1) 会場内では感染防止のために主催者が決めたルールに従うこと。
- (2) 大会中、全ての来場者はマスクを携帯し、競技中以外の参加受付時や着替え時等、人と2 m以内で会話する場合にはマスクを着用してください。ただし、熱中症を防止するため野外で人との距離が2 m以上離れている場合は、マスクを外してください。対人距離をできるだけ2 m以上（両手を伸ばして余裕をもって当たらない範囲を目安）を確保すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）

また、トイレ等の手洗いの石鹸を活用し20秒以上の手洗いを随時行うとともに、マイタオルを持参して手拭を行うようにする。

- (3) 入場時、受付時には下記の対応を行いますのでご協力ください。

ア入場時の消毒等について

- ・入場場所に消毒が期待できるオゾンゲートを設置しますので、ゲートを通過してから受付に来てください。
- ・受付窓口に手指消毒剤を設置するので、受付前に必ず消毒をしてから受付してください。

イ抗原検査の実施

- ・大会会場の駐車場の入場時（AM5:30~）に入口スタッフが、参加者に「新型コロナウイルス抗原検査キット」を渡しますので、受付前に検査を実施し「陰性」を確認してください。
- ・検査は約15分で行えます。余裕をもって来場ください。
- ・スタッフが不在時に入場し検査キットを受け取らず入場した場合は、AM5:30以降に入口スタッフから受け取ってください。

ウ体調の確認について

- ・駐車場の入場時に、乗車している全員の体温測定を行います。
体温が37.5℃以上の場合は、大会医療代表に報告するとともに、該当者の入場をお断りいたします。（発熱が軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は自主的に入場辞退していただけるようお願いいたします）
- ・参加者は、記入した「健康チェックシート」を受付に提出してください。提出がない場合は入場できません。
また、③の質問で陰性でない場合は参加不可、④の質問で有りがある場合は入場を自粛してください。

【健康チェックシートの内容】

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報取扱注意
- ② 大会当日の体温
- ③ 「抗原検査」の結果が陰性であること

④大会前2週間における以下の事項の有無

- ア 平熱を超える発熱
- イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
- ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
- エ 嗅覚や味覚の異常
- オ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- カ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- キ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(4) 更衣室について

更衣室として、公園管理棟の2階小会議室を準備しますが、感染リスクが比較的高いところであるため、人数制限を設けるので順番に入り速やかに着替えを行い、完了したらすぐに退室すること。

(5) 競技説明会

競技説明と注意事項などの基本的説明内容は、事前に送付する「大会案内（競技説明と注意事項）」に記載するので熟読・理解して参加すること。

当日の競技説明会では、基本事項以外の当日の水温の状況、コースコンディションやスズメバチなどの発生状況等の注意事項、変更事項についてのみ説明を短時間で行うものとする。

(6) 選手は、競技中の位置取りにおいて前の人の呼気の影響を避けるため、前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。

(7) スタートは、フルとリレー、ライトを分けて出発し、スタート時には各選手が2m程度離れるようにする。

(8) 競技に際して以下について配慮すること

- ア 競技中に、唾や痰をかくことは極力行わないこと。
(やむを得ない場合は、他者に飛沫が及ばない場所でおこなうこと)
- イ タオルの共用はしないこと。
- ウ 道具の共有は禁止し、特に水のボトルやコップは共有しないこと。
- エ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと。
- オ フィニッシュエリアで選手同士が集まらないこと。

(9) エイドステーション、フィニッシュテープ

エイドステーションでは、水及びスポーツドリンクなどを準備し、紙コップで提供するものとし、セルフ方式（ボランティアから手渡しをしないで選手が直接取る方法）とする。熱中症予防のため水分・塩分をしっかりとってください。食糧等は提供しないので各自準備すること。ごみはコースに放置せず持ち帰ること。

フィニッシュテープは多くの人が接触することになるため設置しない。

- (10) 競技後のアワードセレモニーでの表彰については、手渡しを回避し1度に多人数が接触しないようにするため、各クラスの1位～3位の3人ずつコールした人のみステージに上がり間隔をあけて立ち、セットされた賞状、トロフィー、賞品を自ら取り、写真撮影後に席へ戻るようにする形とするのでご理解・ご協力をお願いします。
- (11) 競技後のアワードセレモニーでの飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人と2 m以上の距離をとって対面を避け、会話するときはマスクを着用してください。ただし、熱中症を防止するため野外で人との距離が2 m以上離れている場合は、マスクを外してください。キッチンカーでの食事提供の際には、前の人と2 m以上の間隔をあけて並ぶこと。また、取り分けや回し飲みはしないこと。

4. 大会後の対応

- (1) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局へ速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

＜大会主催者が行う対策＞

1. スタッフ各個人の対応

スタッフ各位も選手同様以下の対策を実施する。

- (1) 大会実行委員会から事前に配布する新型コロナウイルス抗原検査キットを使用し、大会当日、自宅を出る前に、抗原検査を実施し陰性を確認してから会場へ集合する。
- (2) 普段から「密閉」「密集」「密接」を避け、こまめな手洗い・うがい、咳エチケットに気をつけ健康維持に努めていただき、大会会場でも同様とする。
大会に参加するスタッフは、大会の前後の準備・片付、ミーティング等においても、密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策を行う。ただし、熱中症を防止するため野外で人との距離が2 m以上離れている場合は、マスクを外してください。
- (3) 移動手段としては、公共交通機関をできるだけ避け、自家用車での移動を行う。
- (4) 以下の事項に該当する場合は、来場せず担当長に連絡し欠席すること。
 - ア 抗原検査で陽性の場合
 - イ 体調がよくない場合（例：発熱・咳・鼻汁・咽頭痛・息苦しさ・倦怠感・食欲低下・味覚異常・嗅覚異常などの症状がある場合）。
 - ウ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - エ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (5) 大会会場ではマスク・フォエースシールド等（以下、「マスク等」という）を各自準備し着用する。
多くの選手等と接触する受付の担当、賞品受け渡し担当、コロナ対策班の担当は、事務局が準備するゴム手袋を着用して実施する。
- (6) 行動記録：大会前後 14 日間の出向いた場所、同行者について記録すること。
- (7) 厚生労働省の接触確認アプリ COCOA を、参加者・大会スタッフ等の来場者全員がインストールしすること。

2. スタッフ配置・資機材の配置

- (1) 全体のスタッフについて、必要最低限のボランティア数で対応する。
- (2) 大会スタッフと別でコロナ対策班を設置し、下記による適切な資機材の配置、実施状況のチェックをおこない、感染拡大防止に努める。

【資機材の準備・配置】

- ・衛生用品（マスク、消毒液、石鹼(ポンプ式)、ゴム手袋、体温計[非接触型]など）の必要数を確認し調達を行う。
- ・衛生用品の各所への配置計画をたて配置する。（受付、説明会会場、トランジション、トイレなど）

- ・受付に「健康チェックシート」提出用のBOXを準備
- ・手洗い場には石鹸（ポンプ型）を用意し、「手洗いは20秒以上」等の掲示をする。（参加者にはマイタオルで手拭を行うようにしてもらう）
- ・トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）について消毒する。
- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ・衛生用品（例えばティッシュ、タオル、衛生用品）を安全に廃棄するためのゴミ箱を必要箇所に用意する。
- ・受付には、透明ビニールカーテンなどを設置し遮蔽する。
- ・選手が受付で、密に並ばないように2m間隔にラインを設置し適切な距離をとれるようにする。
- ・ランディッシュンエリアは、適切な間隔をとるため1セットのバイクラックに6台程度（各方向3台）とし間隔で区切るラインを設置する。
- ・フィニッシュした後の誘導線を引き、参加者が滞留しないようにする。

（3）医療体制を整える

3. 受付の対応方法

- （1）駐車場の入場時に、乗車している全員の体温測定を非接触体温測定器により行う。
また、参加者に「抗原検査キット」を配布し、検査するよう指示する。
体温が37.5℃以上の場合は大会医療代表に報告し、該当者の入場をお断りする。
- （2）BOXを準備し、「健康チェックシート」を提出してもらい、記載内容を確認し、③の質問が陰性でない場合、④の質問で「有」がある場合は入場をご辞退いただくようにする。忘れた場合等は、別テーブルで記載していただく。

【健康チェックシートの内容】

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報取扱注意
- ② 大会当日の体温
- ③ 「抗原検査」で陰性であること
- ④ 大会前2週間における以下の事項の有無
 - ア 平熱を超える発熱
 - イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - エ 嗅覚や味覚の異常
 - オ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - カ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - キ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- (3) 参加者に渡す、ゼッケン、スイムキャップ、記念Tシャツ等は受付担当が参加者証番号で照会したうえで、各自でとってもらうように手渡しをしないように工夫する。

4. 更衣室について

- (1) 更衣室として、公園管理棟の2階小会議室を準備するが、感染リスクが比較的高いところであるため、人数制限を設けて、入り口に明示する。換気扇により喚起を行う。
- (2) 出入りに手指消毒用のアルコール等の消毒液を設置する。
- (3) 1時間に1度の頻度で更衣室内を除菌スプレーで清掃する。

5. 競技説明会

- (1) 競技説明と注意事項などの基本的説明内容は、事前に送付する「大会案内（競技説明と注意事項）」に記載して周知する。
- (2) 当日の競技説明会では、基本事項以外の当日の水温の状況、コースコンディションやスズメバチなどの発生状況等の注意事項、変更事項についてのみ説明を短時間で行うものとする。

6. 競技中、競技後での対応

- (1) スタートは、フルとリレー、ライトを分けて出発し、スタート時には各選手が2m程度離れるようにする。
- (2) エイドステーションでは、水のみ紙コップで提供するものとし、セルフ方式（ボランティアから手渡しをしないで選手が直接取る方法）とする。
食糧等は提供しない。ごみはコースに放置せず持ち帰るよう指導する。終了後、コース上のゴミをチェックし落ちていれば回収してくる。
- (3) フィニッシュテープは多くの人が接触することになるため設置しない。
- (4) 競技後のアワードセレモニーでの表彰は、表彰対象者3人ずつコールし、コールした人のみステージに上がってもらい間隔をあけて立ち、予めセットした賞状、トロフィー、賞品を受賞者自ら取ってもらう形をとる。（手渡ししない方法とする）
- (5) 競技後のアワードセレモニーでの飲食場所は、エリアを限定し、エリア内にあらかじめ消毒したビーズクッションを2メートル以上の間隔に配置し、そこで食事をしていただく。食事は、キッチンカーで提供し、各キッチンカーでの食事提供時に消毒液を用意し、消毒をしてから食事を受け取るようにし、並ぶ際には2m以上の間隔で並ぶようにラインを引き、間隔をあけて並ぶように表示を行い密になることを避ける。
- (6) 競技後のアワードセレモニーのイベントについては行わず、ゆったりくつろぎながら食事ができる環境とする。マスクを着けずに近接の会話をしているのを見つけた場合は注意しマスクをしてもらうように促す。

(7) 片付け時のゴミの廃棄

衛生用品（例えばティッシュ、タオル、衛生用品）を安全に廃棄するためのゴミ箱を必要箇所に用意する。鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用し、作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること。

7. メディカル体制の準備

- (1) 感染が疑わしいケースへの対応は、医療テントにいる医療班に相談し対応する。
コロナ対策班で情報を共有し、その後の対応について協議する。

8. 大会後の対応

- (1) スタッフ、参加者が、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、接触確認アプリ COCOA の「陽性情報の登録」へ入力するとともに、大会事務局へ速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (2) 大会事務局は、スタッフ及び参加者から発症の連絡を受けた場合、できるだけ速やかに、大会参加者全員へメールもしくは電話で連絡を入れ、上記※帰国者・接触者相談センター（厚生労働省）へ連絡しその後の対応について指示を受けること。
- (3) 大会事務局は万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておく。また、大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、田原市の健康福祉部へ報告し指示を受けること。

9. コロナ対策専門スタッフ

- (1) コロナ対策班として専門スタッフにより下記を対応する。

①大会エリア全体のコロナ対策マネージャ

- ・消毒液、石鹸（ポンプ式）、体温計（非接触型）、受付透明シート等の対策に必要な資材調達と配置・撤収（配置・撤収は5人全員で実施）
- ・スタッフの配置計画、設備配置の事前確認
- ・検温時、受付時に体温が 37.5° C を超える人、健康チェックシートに異常の記載のある人の連絡をうけ、医療代表と相談し対応する。
- ・大会中の実施状況記録（施設配置状況・実施状況の写真撮影、健康チェックシートの管理、参加者・観戦者・スタッフ・役員等の名簿の管理）
- ・コロナ発生時の一斉連絡

②入場時検温スタッフ

- ・事前の設備配置・事後の撤収

- ・大会関係者のみを確認のうえ駐車場に誘導し、駐車場入口で車中にある入場者全員の体温チェックを行い、参加選手には、「抗原検査キット」を配布する。
37.5° C以上の人がいる場合は、マネージャに報告し指示を受けて対応する。
- ・駐車場が終わったら、アワードセレモニーのためのビーズクッションの配置（2 m間隔）、消毒液の噴霧による消毒、キッチンカーで並ぶ位置に2 m間隔で並べるようにライン、表示を設置することを実施

③受付・消毒スタッフ

- ・事前の設備配置・事後の撤収、更衣室出入口への人数制限の表示設置
- ・受付で提出される「健康チェックシート」の内容確認
- ・異常時の医療班への報告、引き渡し・・・マネージャに引き渡し
- ・受付終了後は、アワードセレモニーのためのビーズクッションの配置（2 m間隔）、消毒液の噴霧による消毒、キッチンカーで並ぶ位置に2 m間隔で並べるようにライン、表示を設置することを実施

以上

(参考1) 帰国者・接触者相談センター (厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/covid19-kikokusyasessyokusya.html

(参考2) ITU 『COVID-19 Guidelines (英和対比)』

<https://www.jtu.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2020/05/3f9bc11cc84daf1d96bc126d3b4b3cac.pdf>

(参考3) JTU 『COVID-19 Outbreak - Guidelines for RMDs and MDs (簡易訳)』

<https://www.jtu.or.jp/news/2020/03/18/14104/>

(参考4) スポーツ庁日本スポーツ協会 スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて 2020.5.14

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/detail/jsa_00021.html

(参考5) 首相官邸 『新型コロナウイルスお役立ち情報』

https://www.kantei.go.jp/jp/pages/coronavirus_info.html

(参考6) 厚生労働省 『新型コロナウイルス感染症について』

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

(参考7) 厚生労働省 『新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安について』

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000596978.pdf>

(参考8) 厚生労働省 『国民の皆さまへ (新型コロナウイルス感染症)』

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html#yobou

(参考9) 厚生労働省 『新しい生活様式』

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

(参考10) 公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン【令和3年2月15日更新版】

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html>

(参考11) 新型コロナウイルス感染症対策分科会

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/taisakusuisin.html>